

# 深沢 幸雄 銅版画展

2005.1.29 〈土〉

► 2.27 〈日〉

The Retrospective Exhibition of Yukio Fukazawa

◎開館時間

10:00~18:00

・金曜日は20:00まで、ただし2月

11日(金・祝)を除く

・入館受付は閉館の30分前まで

◎休館日

月曜日

◎入館料

一般200(160)円

大学・高校生150(120)円

中・小学生100(80)円

・( )内は団体30名以上

・同時開催の「遠藤健郎絵画展」も  
ご覧いただけます

◎主催

千葉市美術館



千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL:043-221-2311(代)

<http://www.city.chiba.jp/art>

吉沢賢治《春と修羅》より《ローマンス》ディーフエッティング・アクアチント・エッチング・ルーレット 1986年

The Retrospective Exhibition of Yukio Fukazawa

# 深沢幸雄銅版画展

深沢幸雄は1924年、山梨県南巨摩郡増穂町に生まれました。はじめ油彩画を志しますが、東京大空襲で受けた右膝の傷がもとで、20代から30代にかけての6年ものあいだ、歩くのも不自由な生活を強いられます。油絵はあきらめて銅版画に転向、駒井哲郎や浜田知明に影響されつつも、独学で制作に入りました。こうした制約の多い出発と持ち前の好奇心とが、深沢を飽くなき版上の冒険へと駆り立てたのでしょう。メゾチントやエッチング、アクアチント、ドライポイントなどを独自に究め、また併せることで千变万化とも言うべき多彩な表現を獲得、銅版画の可能性を大きく拡げました。50年代の末以来国内のみならず海外でも高い評価を受け、戦後の日本を代表する銅版画家として今もなお新たな挑戦を続けています。

1950年からは市原市鶴舞に住み、はじめての個展も55年、当時千葉市にあった国松画廊で開かれました。作家にとってゆかりの深い千葉市で開かれる本展は、千葉市美術館の所蔵作品を中心に版業の初期から近作までを網羅、さらに書やガラス絵もあわせた約180点から深沢幸雄の全貌をたどります。高度なテクニックに支えられた、詩情あふれる豊穣な作品世界をご堪能ください。

〈憂愁市街(部分)〉 メゾチント・アクアチント他、紙 1984年

## 【イベント案内】

### ◆講演会

「僕と版画とメキシコと」

日時: 2月13日(日) 14:00~

講師: 深沢幸雄氏

場所: 11階講堂

### ◆ギャラリートーク

毎週水曜日 14:00~

#### 次回展予告:

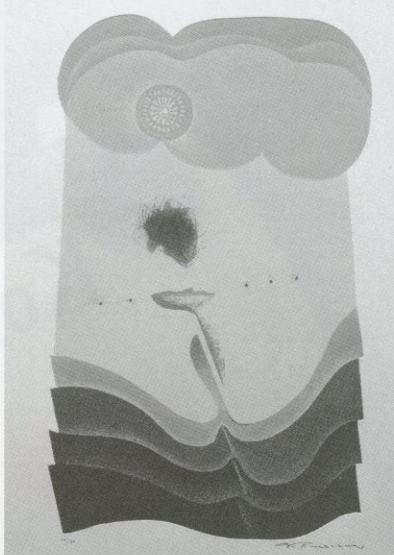
3月5日~3月25日

第36回千葉市民美術展覧会

4月5日~5月15日

義経展

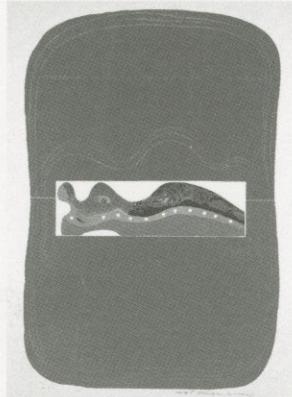
—源氏・平氏・奥州藤原氏の至宝



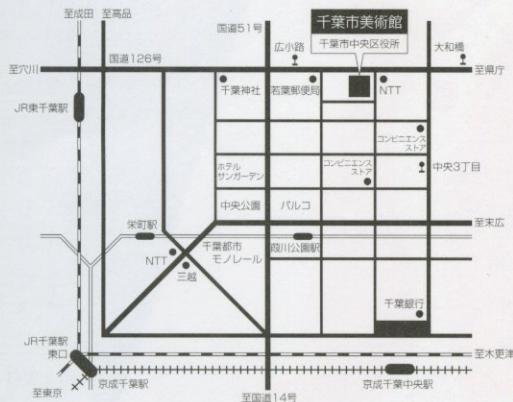
〈憂愁市街(部分)〉 メゾチント・アクアチント他、紙 1984年



ダンテ『神曲』(地獄篇)より「ブルネット・ラティーニ」  
エッチング他、紙 1956年



〈窓〉 アクアチント・ハンド他、紙 1972年



◎JR千葉駅東口より徒歩約15分／千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分／バスのりば7より大学病院行、南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩2分／JR千葉駅へは東京駅地下ホームから総武線快速千葉方面行で約42分  
◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分  
◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ貝塚ICをおり、国道51号を千葉市街方面へ約3km 広小路交差点近く  
◎地下に駐車場有り

**千葉市美術館**  
**Chiba City Museum of Art**  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8  
TEL: 043-221-2311(代)  
<http://www.city.chiba.jp/art>